

平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業政策課
 担当名：企画・試験研究調整担当
 内線：4035 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B2	農林総合研究センター施設整備事業(継続事業第2年次支出額)			一般会計	農林水産業費	農業費	農業研究費	農林総合研究センター施設整備事業費		
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	なし				戦略項目	08 埼玉農業の競争力強化		
							分野施策	030201 収益力ある農業の確立		
<p>1 事業の概要</p> <p>農林総合研究センターの研究機能の強化のため、水田農業研究所、園芸研究所を農林総合研究センター本所へ集約し、これに伴い本所内で不足する、実験室、温室等を整備する。</p> <p>事業期間延長による減額</p> <p>(1) 土木工事 0千円</p> <p>(2) 建築工事 239,361千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>農林総合研究センター体制整備事業(継続費) 442,047千円</p> <p>農林総合研究センター体制整備に必要な施設、設備整備に係る事業を実施</p> <p>農林総合研究センターの集約に当たり本所内の既存の施設規模では不足する、実験棟、温室、作業・資材庫など最小限の施設場の整備、既存施設の改修工事</p> <p>試験研究用機器などの備品の移転費用など</p> <p>ア 土木工事 22,922千円</p> <p>イ 建築工事 419,125千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 土木工事 継続事業(平成26年度、平成27年度)</p> <p>ウ 建築計画 継続事業(平成26年度、平成27年度)</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 集約することにより研究資源の集中が可能となり、研究環境と衛生環境の充実が図られる。</p> <p>イ 研究体制を作目別から機能別に再構築することで、横断的な研究が可能となり機能強化が図られる。</p> <p>ウ 平成27年度に隣接地に移転する農業大学と共に農業振興の拠点として、普及指導組織を含めてさらなる連携強化が図られる。</p> <p>エ 集約により初期投資費用と維持管理費の縮減が図られる。</p> <p>(4) 補正概要</p> <p>事業期間の延長に伴う翌年度実施の工事請負費の減額</p>						
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(県10/10)</p>										
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>地域活性化事業債(405,000千円)の元利償還金の30%が後年度基準財政需要額に参入される。</p>										
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×6人=57,000千円(うち3人増員)</p>										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		県債								
決定額	239,361	240,000						639	202,686	
現計額	442,047	442,000						47		